



2020年6月3日

日本製紙株式会社
日本製紙クレシア株式会社

消費者・流通・メーカーの「三方よし」に、地球へのやさしさをプラスして「四方よし」

長尺トイレットロールを主力商品へ

クレシア春日株式会社で第二抄紙機の稼働を開始

日本製紙グループの日本製紙クレシア株式会社(社長:山崎 和文、本社:東京都千代田区、以下「日本製紙クレシア」と春日製紙工業株式会社(社長:大塚 昇、本社:静岡県富士市、以下「春日製紙工業」)の家庭紙合弁事業会社であるクレシア春日株式会社(社長:成田 弘文、本社:静岡県富士市、以下「クレシア春日」)は、日本製紙株式会社(社長:野沢 徹、本社:東京都千代田区、以下「日本製紙」)の富士工場の敷地内に、家庭紙第二抄紙機の設置を進めてまいりましたが、計画通り完工し、2020年5月に家庭紙第二抄紙機を稼働いたしました。

新設した家庭紙第二抄紙機の年間生産能力は、約40,000トンで、近年需要の増加している長尺トイレットロール等を生産し、日本製紙クレシアで販売いたします。そして、本設備は、2018年5月より稼働している第一抄紙機と同様、ユーティリティーなど日本製紙 富士工場が持つ資産を有効活用しています。大消費地である首都圏に隣接しており、更に競争力の高い工場として、「スコッティ® フラワーパック3倍長持ち4ロール」を主軸とした長尺トイレットロールの主力商品化への供給体制構築を図ってまいります。

当社では、トイレットロールの長尺化に長年取り組んでまいりました。中でも、2016年に発売を開始した「スコッティ® フラワーパック3倍長持ち4ロール」は、1ロールに通常品の3ロール分のトイレットペーパーを巻き、4ロールで12ロール分の長さがあります。

そのため、消費者はコンパクトで持ち帰りが容易であり、取り替えの手間と、収納スペースが削減できます。また、販売店では、売場や在庫スペース削減と品出し回数の減少に繋がります。さらに、輸送効率の向上による二酸化炭素排出量の削減、包装材の減少などで、地球環境の改善にも貢献できる「四方よし」の商品です。



日本製紙クレシアは、クレシア春日の新設備に加え、全工場で長尺トイレットロール製品の供給体制の充実を図る予定です。これにより、トイレットロールの主流である12ロールの形態から、長尺トイレットロールをスタンダードのラインアップとする『長尺化』を推進してまいります。また、併せてキッチンタオルも同様の課題解決を進めてまいります。



スコッティファイン 3倍巻キッチンタオル

日本製紙グループは、今後も地球環境に優しい製品開発を続け、SDGsの実現を目指します。

木とともに未来を拓く

日本製紙グループ

東京都千代田区神田駿河台4-6 〒101-8215
<http://www.nipponpapergroup.com/>

■参考)クレシア春日の概要

会社名	クレシア春日株式会社
本社所在地	静岡県富士市蓼原 600 (日本製紙富士工場敷地内)
代表者	成田 弘文
資本金	4 億 5 千万円
出資比率	日本製紙クレシア 80%、 春日製紙工業 20%
設立年月日	2017 年 4 月 3 日
事業内容	家庭紙の生産・加工・販売

以上